

「国際女性の日」2009

女性への暴力

～根絶に向け男女が力を
合わせて今できること～

妊産婦の死亡率を減らす

—ネグレクト、搾取、暴力の問題に取り組む

ユニセフ東京事務所
日本・韓国兼任代表
功刀純子



unite for
children

unicef 

MDGの達成に向けて

Goal4 乳幼児死亡率の削減 Reduce child mortality	ターゲット4-A 1990年と比較して5歳未満児の死亡率を2015年までに3分の1に削減させる。
Goal5 妊産婦の健康の改善 Improve maternal health	ターゲット5-A : 1990年と比較して妊産婦の死亡率を2015年までに4分の1に削減させる。 ターゲット5-B : 2015年までにリプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)への普遍的アクセスを実現する。

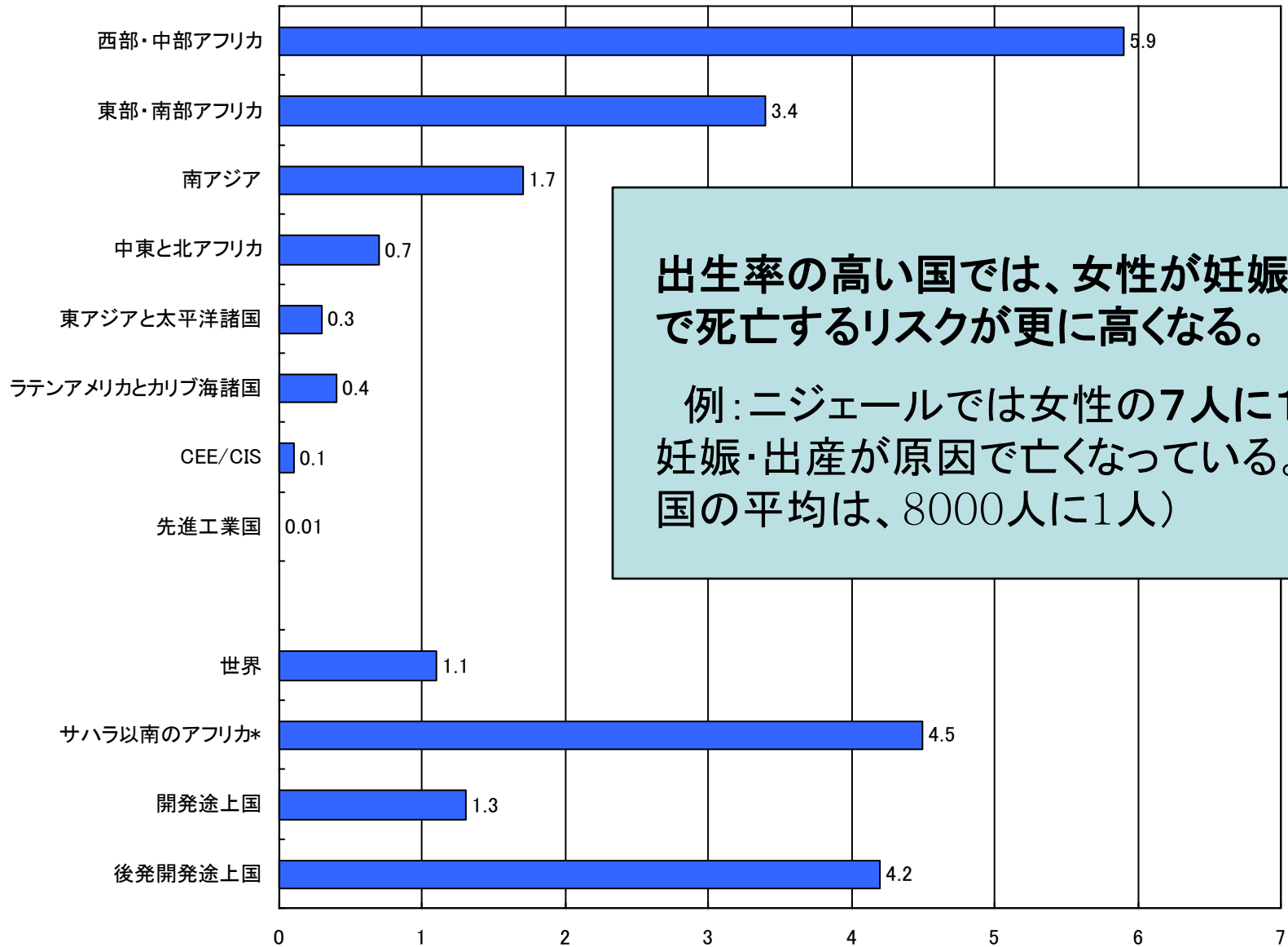
この他のMDG目標(貧困・飢餓の撲滅、ジェンダー差別の改善、初等教育の普及、感染症の減少など)とも密接に関連。

現状

毎年50万人の女性が妊娠・出産で死亡

- 毎日1,500人の女性が死亡
- この内約半分がサハラ以南のアフリカで、35%が南アジア
- 全体に1990年から殆ど削減できず
- 数ある死亡率の指標の中で、途上国と先進国の差が最大

女性が生涯に妊娠・出産で死亡する危険度(リスク)、2005年

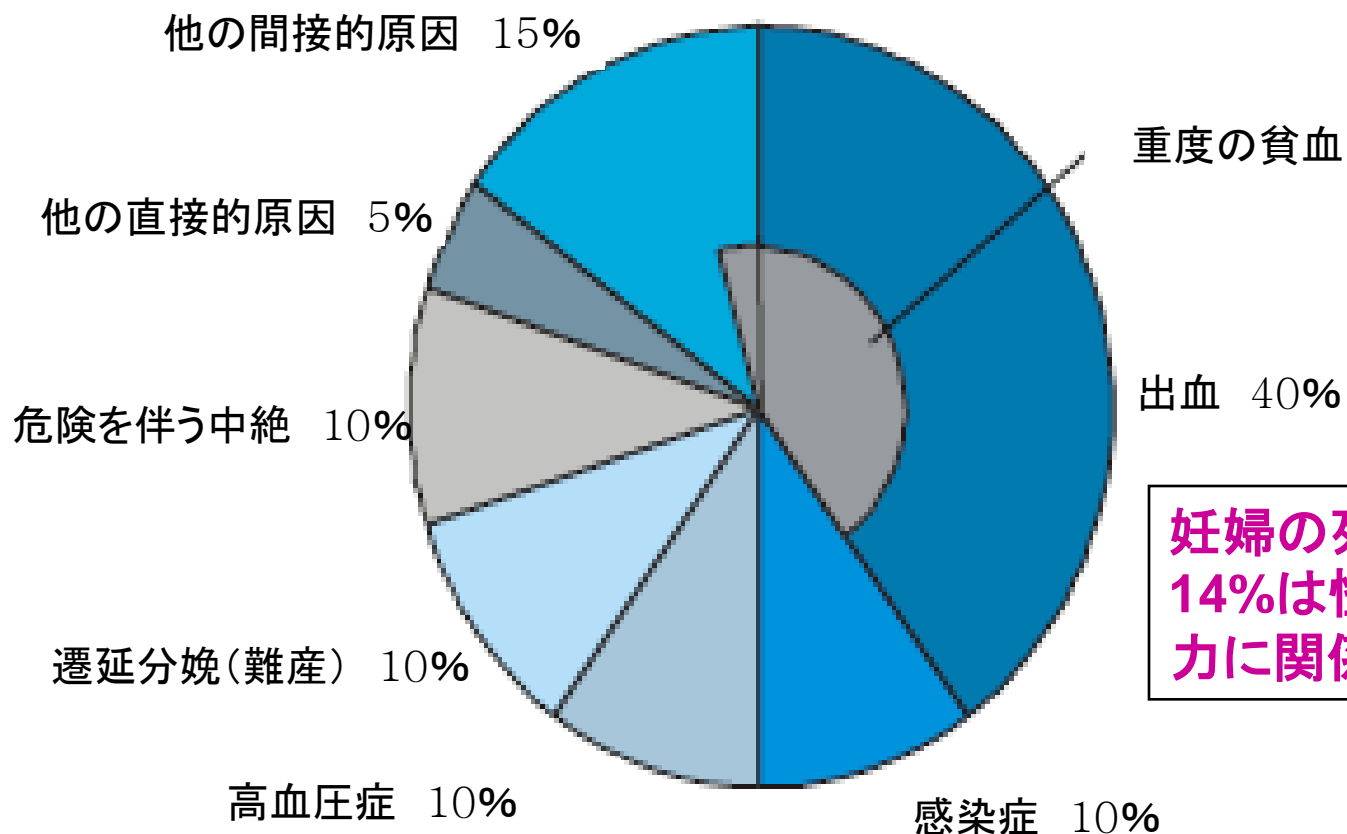


出生率の高い国では、女性が妊娠・出産で死亡するリスクが更に高くなる。

例：ニジェールでは女性の7人に1人が妊娠・出産が原因で亡くなっている。(先進国の平均は、8000人に1人)

女性が出産年齢を通して妊娠・出産に関連する原因で死亡する確率(%)

南アジアにおける妊産婦死亡 出産の際の原因



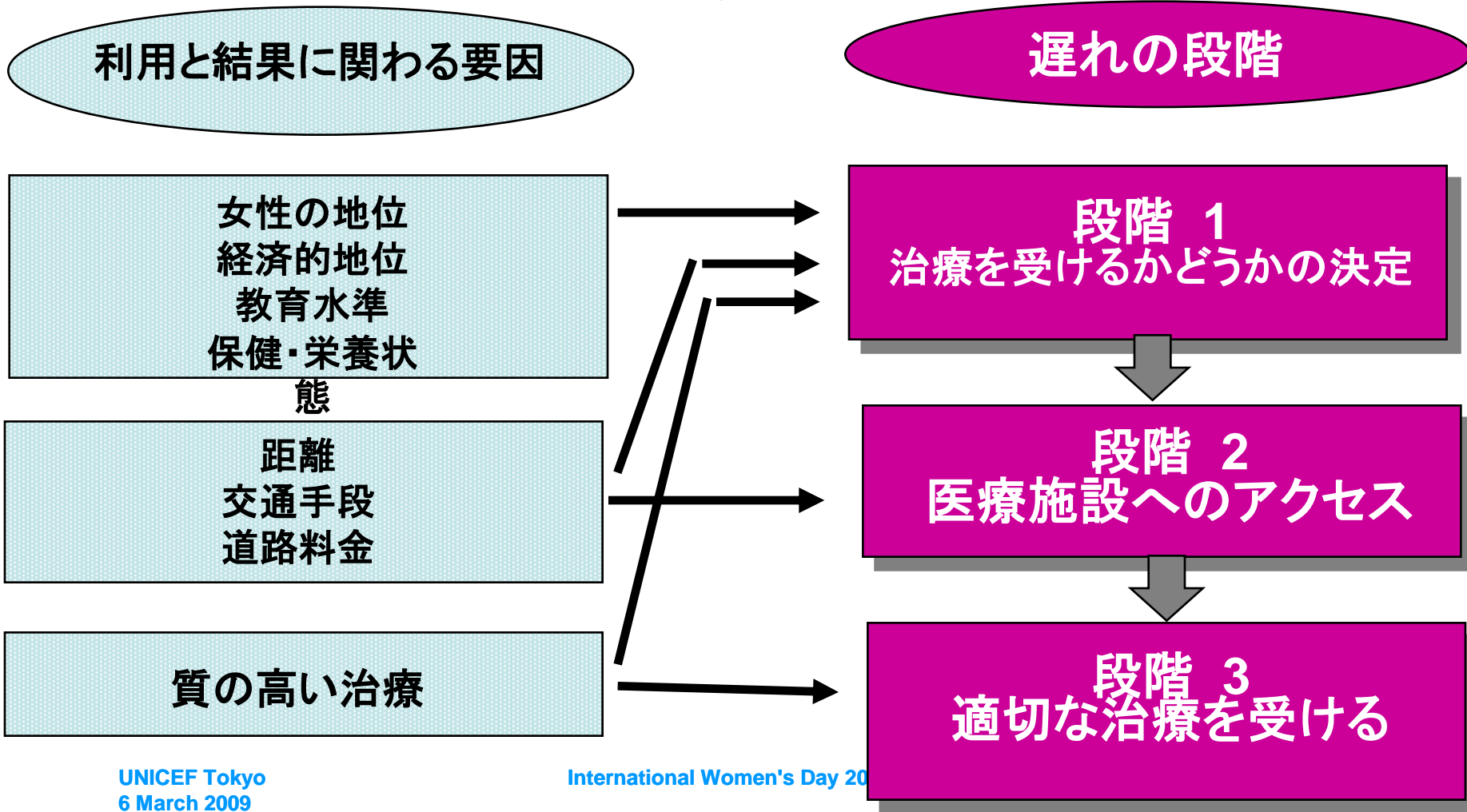
妊婦の死亡の
14%は怪我や暴力
に関係している*

出典: UNICEF

*バングラディッシュ妊産婦保健サービス、妊産婦死亡率調査統計 2001

何が女性の緊急産科治療受診を妨げるのか？

3つの遅延





妊産婦死亡率を減らす
—権利に基づいた行動への要求

unite for
children

unicef 

権利に基づく行動へのステップ

- 妊産婦の健康と男女平等を支える環境作り:
男女が力を合わせる
- 必要なときに必要な場所で必要なサービスを
継続的に提供する
- 妊産婦の健康状態を改善するための保健システム
の強化
- 共に取り組むーパートナーとの協力、政治的コミット
メントの維持と強化

価値観を行動に移す

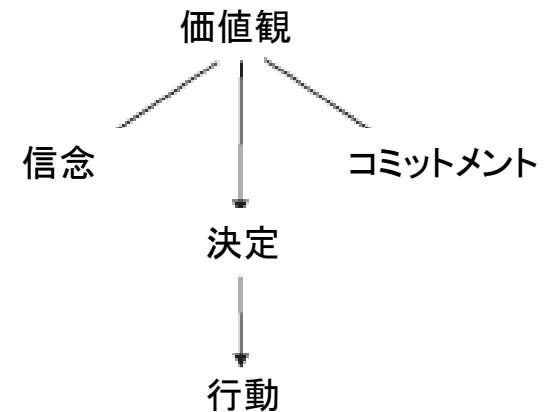
バングラディッシュの女性に優しい病院イニシアチブ

- 人間としての尊厳、生きる権利と開発、参加、責任、相互依存という価値観の必要性
- 男性、女性、地域社会の力を結集する
- リスクをいとわず立ち向かう推進派への支援
- サービスの質とアクセスの向上
- 新たな規範作り(技術的 & 社会的、政策の面で)



UNICEF Tokyo
6 March 2009

価値観を行動に移す



THANK YOU



unite for
children

unicef 